

令和8年 第3回定例会

一般質問通告書

令和8年9月28日（月）

令和8年9月29日（火）

令和8年9月30日（水）

与那原町議会

令和8年 第3回 定例議会一般質問順番表

9月28日(月)		
順番	氏 名	予定時間
1	志 村 幸 司 議員	午前10時～ 正午
2	町 田 元 利 議員	
3	相 羽 と し え 議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	新 垣 真 一 議員	
9月29日(火)		
順番	氏 名	予定時間
1	古 堅 亮 吉 議員	午前10時～ 正午
2	仲 里 賢 次 議員	
3	喜 屋 武 一 彦 議員	午後1時30分～ 午後4時30分
4	松 長 康 二 議員	
5	知 念 正 成 議員	
9月30日(水)		
順番	氏 名	予定時間
1	諸 見 里 史 子 議員	午前10時～ 正午
2	城 間 優 希 議員	
3	宮 里 武 志 議員	午後1時30分～ 午後3時30分
4	舩 谷 政 喜 議員	

※予定時間は、あくまでも目安です。

※YouTube(ユーチューブ)配信も行っています。

1. 志村 幸司 議員 一般質問要旨

(1) 平和活動の推進について

- ①町民平和の日前後から6月23日慰霊の日の前後の期間における平和活動と、それぞれの参加人数と評価を伺いたい。
- ②参加型の優位性及び、哀悼を直接的に捧げるうえで戦没者の名前読み上げは有効と思うが、来年は実施できるように進めて頂けないか。

(2) 文化継承について

- ①「いちゃりばちょーでー」、出会いの大切さを歌う兄弟小節は、戦後の沖縄民謡界を牽引した与那原出身の前川朝昭氏の作品で、東浜にはその歌碑があるが、本町は兄弟小節の保存・継承等、どのように位置づけているか。
- ②町民、特に子供たちへの認知を高めるために、歌碑の側にメロディ機器を設置できないか。

(3) 資源ごみの収集について

- ①全国的にアルミ缶を中心とした資源ごみの持ち去りが問題になっている。本町でも同じ状況が見受けられるが、対応はどのようなになっているか。
- ②持ち去り対策で罰金制度を設ける自治体が出てきたが、その中で名古屋市は今年4月に同制度を設け、制定1カ月で持ち去りが劇的に減少した旨の報道がなされている。町民の安心・安全な暮らしの観点からも本町も同様な制度が必要と考えるがいかがか。課題を含めてお聞きしたい。

(4) 待機学童について

- ①一億総活躍時代と言われ本町でも女性の働く割合が85%となっている現在、保育園同様学童も重要な位置づけとなっている。現在待機学童はいるか、隠れ待機学童はどうか。
- ②第三期与那原町子ども・子育て支援事業計画では、学童数は令和7年度の10カ所から同8年度には12カ所に増やす必要がある見込み数値となっているがどのような状況か。

答弁を求める者 町 長 教育長

2. 町田 元利 議員 一般質問要旨

(1) 不法投棄について

- ①町内の不法投棄が頻繁に発生している。場所は把握されていますか。
- ②不法投棄の防止対策は、どのようにされていますか。
- ③不法投棄された物の処理(撤去)の規定をお聞きしたい。また撤去は町か地主かの規定。

(2) 防災無線について

- ①防災無線の使用目的を教えてください。
- ②町内に11ヶ所の防災無線を設置していますが、その場所を設定した根拠を教えてください。

(3) 各区の区内放送について

- ①放送設備について、増設や修理は基本的に区の経費持ちになり、多額の費用がかかり、区の予算ではかなり無理がある。台風時の故障は町が全額補助してくれますが、台風被害以外の故障や増設も町予算の活用を提案します。

災害時では町防災設備以外に区内放送も大事な役割を果たすと思います
がいかがでしょうか。

(4) 町防災士について

- ①防災士の名簿を作成し、各区の防災士の人数を把握されていますか。
- ②防災士の活動内容を教えてください。

(5) 県外派遣費補助金について

- ①補助金の交付算定基準をお伺いします。
- ②算定基準の見直しの時期的な規定はありますか。

答弁を求める者 町 長 教育長

3. 相羽 としえ 議員 一般質問要旨

(1) 防災、減災、被災後の対応について

- ①避難所開設で心がけていることは。
- ②避難所に指定されている「かなちホール」の場合、座る場所スペースはどのように決めているのか。

- ③ プライベートを保つテントは何張あるのか。足りるとお考えか。
- ④ 直敷でシートが敷かれているが、長時間過ごせるのか。改善方法は。
- ⑤ 沖縄女子短期大学をはじめ、高層階集合住宅などの垂直避難に関して、階段のカギについての協議の進捗状況は。
- ⑥ 役場に避難してきても、車中避難の場合「エコノミー症候群」が心配される。ケアする人材など準備はしているのか。またエアコンを使用する場合、ガソリン不足も起こりうる。燃料会社との連携はされているのか。
- ⑦ 被災地で一番問題に上がるのが「衛生面」で、仮設トイレを設置しても清掃ができない。熊本地震では清掃業者と連携し非常に助かったと聞く。本町はどうされているのか。また、特に女性は下着類が洗えないことがストレスになっている。肌着のストックや、その必要性の周知はしているのか。
- ⑧ 「歯磨き」をしないと、全身に菌が回り危険といわれている。歯科医師会や薬局などとの連携はどのようになっているのか。
- ⑨ 避難所で走り回れない子どもにはストレスが大きい。子ども対策はいかようになっているのか。
- ⑩被災2週間後には、二次避難所、ホテルや環境の整った場所に移動することが望ましいとされている。県内宿泊施設などどのように連携しているのか。また、今後町内にホテル建設が予定されているがどのように連携をお願いしているのか。
- ⑪ 見えない避難者、在宅避難者をどのようにケアをするのか。食事、健康面のチェックはどうされるのか。
- ⑫ 小さな市町村ほど職員人材不足になる。他市町村、県、国との連携、応募を募る方法は決めているのか。
- ⑬被災後の問題の一つに「災害関連死判定」がある。どこが相談窓口になり、誰がどのように判定するのか。被災した人の日常を知らない人が判断するのか。
- ⑭ 7月27日午前10時25分頃、役場が停電した。その原因と対応は。
- ⑮役場の業務BCP（業務継続計画）はいかようになっているのか。一般的に市町村のホームページに公開されているが、本町のものは県のホームページにしかないが。

⑩ 今後役場が被災した場合、代替庁舎はどこに設置し、行政機能維持はどのようにするのか。職員体制、優先業務、情報伝達手段など具体的に説明を。

(2) 与那原中学校、各小学校、生徒児童からの要望について

①八重瀬との統合給食センターについて、栄養士をはじめ教職員は、建設費用高騰のため他の経費削減をされ、給食の質が落ちるのではと心配されている。おいしさを保つための機材、器具（スチームコンベクションオーブン、真空冷却器、保温食缶、冷温食缶など）の購入を要望されているがいかがか。

② 高校進学为学校区があり、それ以外の場合定員の10%という狭き門になる。隣接する西原町の西原高校を希望する生徒が多いため、学校区を柔軟に考えてほしい希望がある。いかがか。

③ 午後6時の音楽が町歌に変更されたが、大人の男性の声なので児童から少し怖いという声が上がっている。町内に合唱団があるので、子どもたちの声で歌ったものを使用するのはどうか。

(3) 与那原大綱曳における来賓紹介基準について

①招待されていない方を来賓紹介したことについて、大綱曳運営委員長である町長に質問後、抗議及び謝罪要求を申し出たところ「周囲からの促しも含め、現場の判断により紹介した」と回答。「周囲」とは誰で、「現場の判断」は誰が行ったのか。

②「結果として配慮に欠けた」とのこと。結果ではなく、招待していない人が着席でき、且つアナウンスしなければならなかった経緯は。

③「今後、適切な運営体制を検討協議する」とは、具体的に何をどのように改善するのか。来賓紹介の基準は。

④最高責任者である大綱曳運営委員長の謝罪が一言もない理由はなにか。

答弁を求める者 町 長 教育長

4. 新垣 真一 議員 一般質問要旨

(1) 電子投票の導入について

- ① 本町において、選挙事務の効率化、投票環境の向上等を図る観点から、電子投票を導入することについて、どのように認識しているか伺います。
- ② 現在の選挙事務において、投票・開票作業にどの程度の職員が従事しているのか。特に開票作業については、どの程度の時間を要しているのか伺います。
- ③ 電子投票を導入した場合、開票作業の時間短縮や開票事務に従事する職員数の削減など、行政側の経費削減効果も期待できると思うが見解を伺います。
- ④ 本町が電子投票を導入すると仮定した場合、1回の選挙でどの程度の費用が必要になると想定しているのか伺います。
- ⑤ 導入した場合に削減できる人件費や事務負担まで含めた「費用対効果」を検証する考えはないか伺います。

(2) 大規模災害時における応援職員の受け入れ体制について

- ① 本町は大規模災害に、人的応援の受け入れに関する受援計画を策定しているのか伺います。
- ② 本町が締結している自治体間の災害時相互応援協定は何件あり、どの地域の自治体と締結しているのか伺います。
- ③ 避難所運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているのか伺います。
- ④ 人的応援を要請する判断基準、責任者、県や協定自治体の要請ルートは明確になっているのか伺います。

答弁を求める者 町 長 教育長

5. 古堅 亮吉 議員 一般質問要旨

(1) 与那原大綱曳について

- ① 与那原大綱曳とまつりは別の場所で行っているが、以前と同じ様に行っていく考えはあるのか
- ② 本体の綱作りにおいて、カナチの部分を編む場所だけでも簡易的なアーチ（屋根）を設置できないか。

- ③与那原大綱曳の歴史書、資料集の更新作成はどうなっているのか
- (2) 与那原町脱炭素先行地域事業について
- ①進捗状況は。
- ②今後計画の変更などはあるのか。
- (3) 今回の知事選挙について
- ①町長の見解は。
- ②今後のまちづくりに影響はあるのか。

答弁を求める者 町 長 教育長

6. 仲里 賢次 議員 一般質問要旨

- (1) MICE施設整備の見直しについて（知事選挙後の県政に対する要請について）
- ①2030年の沖縄サミット誘致について、本町としてどのような認識を持っているのか伺う。
- また、国政レベルで沖縄開催を目指す動きがある場合、本町として積極的に誘致活動に関わっていく考えはあるか伺う。
- ②沖縄県が国際的なMICE都市として発展していくためには、国内外の大型展示会、国際会議、コンサート等を誘致できる一定以上の施設規模が必要である。MICE施設の将来の需要を見据え、施設の規模拡大を要請する考えはあるか伺う。
- ③県は2033年度上半期の供用開始を目指しているが、2030年沖縄サミット開催を見据え、MICE施設の供用開始時期を2030年まで前倒しすることを要請する考えはあるか伺う。
- ④2030年にサミットを開催するためには、MICE施設だけでなく、参加者・関係者を受け入れる宿泊施設の整備が不可欠である。
- 県に対してMICE施設とホテルの同時期開業を要請する考えはあるか伺う。
- ⑤MICE施設、ホテル、商業施設、交通ターミナル、マリーナ等のエリアを個別に整備するのではなく、一体的なMICEエリアとして早期に機能させることが重要である。MICE施設の完成をゴールとするのではなく、ホテルを含むエリア全体を同時期に稼働させることを要請する考えはあるか伺う。

⑥仮に2030年にMICE施設とホテルが完成したとしても、そこへアクセスする道路や公共交通が整備されていなければ、大型国際会議を受け入れるインフラとして十分とは言えない。

そこで、2030年を一つの目標年として、交通インフラについても前倒しで整備計画を組み直すべきである。

MICE施設・ホテルの2030年開業を前提とした場合、与那原バイパス4車線化の早期完成、周辺道路ネットワークの強化、沖縄都市モノレールの与那原方面延伸の事業化を国及び県へ要請する考えはあるか伺う。

(2) 災害に強いまちづくりについて

(避難ルートに指定された当添11号線付近の地滑り対策について)

①令和7年6月定例会および9月定例会において危険性を指摘し、町に対して対策を求めてきた地滑りについて、今年に入り、度重なる台風や大雨の影響により、地滑りがさらに進行している状況が確認されている。

1) 現在の地滑りの状況について、本町は現在どのような状況であると認識しているか。また、台風や大雨によって地滑りがどの程度進行しているのか、本町として現地調査を行っているのか伺う。

2) 地滑りが進行している状況を踏まえ、現在も安全な避難ルートとして機能すると認識しているのか伺う。

3) 今後さらに地滑りが進行した場合、道路の通行や避難にどのような影響が生じると想定しているのか伺う。

4) これまで町に対して対策を求めてきたが、対象となる事業がないことを理由に、根本的な対策が行われていない。国や県には地滑り対策に関する予算や補助制度が存在しているが、今回の地滑り進行を受け、本町としてこれらを活用し、早急な対策を講じる考えはあるか伺う。

(3) DX化の推進について

①当添区では、役員の担い手不足や高齢化、現金での区費徴収、紙による回覧板など、従来の自治会運営を維持することが難しくなっている一方、スマートフォンなどの普及により、デジタル技術を活用した新しい地域コミュニティの形を構築することが可能である。自治会活動においてDX化を導入した場合、電子マネーでの区費徴収、電子回覧板、区からの情報発信、行事参加申込、防災情報の発信、避難ルートや危険個所の情報共有などが図られる。

特に当添区では、災害時の避難ルートの安全確保が重要な課題となっており、地域DXと防災DXを組み合わせることは大きな意義がある。まず、本町として自治会DXを推進する考えはあるか伺う。

②本町の先行モデルとして当添区を位置付け、町の支援を受けながら地域コミュニティDXと防災DXを組み合わせた「当添区地域コミュニティDXモデル事業」を実証する考えはあるか伺う。

③導入に必要なシステム費用、研修費、操作支援等について、本町として財政面や人的面から支援する考えはあるか伺う。

④沖縄県市町村DX支援や国のデジタル実装関連事業等を活用し、将来的には当添区モデル成果を町内全区へ展開する考えはあるか伺う。

(4) 公共施設の施設管理について

①本町が所有する施設について、施設ごとの建物および設備の取得年数、取得価格、耐用年数、修繕履歴、更新時期等を一元的に管理する「資産管理シート」またはそれに類する管理台帳は整備されているのか伺う。

②公共施設を長期的かつ計画的に維持管理するためには、まず施設ごとの資産管理シートを整備することが必要である。施設ごとに「何を、いつ取得し、いくらかかり、いつ更新するのか」を明確にすることで、将来必要となる修繕・更新費を把握することができる。本町として所有する施設について、建物及び主要設備を対象とした施設別資産管理シートを整備する考えがあるか伺う。

③資産管理シートを単なる台帳として終わらせるのではなく、長寿命化計画と連動させ、設備の耐用年数、劣化状況、修繕履歴を踏まえて、10年後、20年後、30年後に必要となる施設ごとの修繕・更新時期を予測する仕組みを構築すべきだと考える。

施設ごとの資産管理シートを整備し、設備の耐用年数や劣化状況に基づいて修繕・更新時期を設定するとともに、それを長寿命化計画に反映させる考えがあるか伺う。

(5) 公共施設長寿命化計画における大規模修繕時期の見直しについて

①本町では、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、公共施設の適切な維持管理と長寿命化を進めている。しかし、現在の長寿命化計画では、大規模修繕周期の時期を建設から20年後とされているが、20年という期間に設定した根拠を伺います。

②施設には、建物本体だけでなく、空調、電気、給排水、消防、昇降機等、多くの設備があり、それぞれ耐用年数やメーカーが示す更新時期が異なっている。

本町の長寿命化計画において、設備ごとの耐用年数や更新周期をどのように反映しているのか伺う。

③「20年後に大規模修繕」だと、設備が故障してから修繕する「事後保全」になり、緊急対応や部品交換、施設の休止などによって、かえって費用が増加する可能性がある。

一方、計画的に設備を更新する「予防保全」により、突発的な故障を減らし、施設を安定的に利用できるとともに、長期的なライフサイクルコストの縮減にも繋がるが、本町として、設備ごとの更新周期を明確にした予防保全型の長寿命化計画へ見直す考えがあるのか伺う。

(6) おきなわパワーHD(株)の経営状況と本町の関与について

①本町は、おきなわパワーHD(株)に25%出資しており、町民の財産を出資する以上、会社の経営状況や財務状況について十分に把握し、適切に監督していく責任があると考えます。

令和7年12月に公表された本町監査委員による出資団体監査では、令和6年度決算書と固定資産台帳との間に91万円の差額が生じており、監査後に修正したものの、なお24万8千円の差額が残っていることが指摘されている。

- 1) 差額が発生した原因について本町はどのように認識しているのか伺う。
- 2) 現在は完全に是正されているのか伺う。
- 3) 再発防止のため、会計処理や固定資産管理のチェック体制をどのように改善したのか伺う。

②おきなわパワーHD(株)の令和7年度決算について、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、純資産、現預金、借入金残高、町への配当金について、それぞれ前年度と比較してどうのようになっているのか伺う

③おきなわパワーHD(株)は、環境省の脱炭素先行地域事業の中心的な役割を担っており、多額の国費・交付金が投入されている事業にも関わっています。

その事業について、当初設定した目標に対する実績、太陽光発電の導入件数、発電量、電力販売量、契約件数、収益状況などについて、本町はどのように評価しているのか伺う。

④環境省の資料によると、おきなわパワーHD(株)は鹿児島銀行から融資限度額20億円の融資が実行され、電力小売事業による収益により、11.7年で投資回収を見込む計画となっているが、現状について伺う。

⑤令和7年度までに、おきなわパワーHD(株)が実施する脱炭素先行地域事業に対して、国・県・町からそれぞれいくらの交付金・補助金が投入されているのか伺う。

また、そのうち同社自身が負担している金額について伺う。

さらに、交付金・補助金を除いた場合、事業そのものが自主採算できる事業なのか伺う。

⑥本町が25%を出資する会社であるにも関わらず、町民から見た場合、会社の決算状況や事業成果が十分に公開されていないと考えます。今後、町民や議会に対して、決算状況、事業実績、町の出資効果等について、より分かりやすく情報公開していく考えはあるのか伺う。

答弁を求める者 町 長

7. 喜屋武 一彦 議員 一般質問要旨

(1) 消防団員について

- ①与那原町の定数は。
- ②団員数と団員の構成（職種）。
- ③消防団員の身分・指揮系統はどうなっているか。

(2) 学校教育について

- ①教員の職場環境と教員の定数は確保できているか。
- ②児童生徒の学校生活の状況は。
- ③今後の教育行政・学校運営方針を伺いたい。

答弁を求める者 町 長 教育長

8. 松長 康二 議員 一般質問要旨

(1) 大型M I C E 施設整備事業関連について

- ①2033年度上半期の供用開始を目標としている大型MICE施設だが、以下の点について、本町及び沖縄県の取り組み・考えを伺う。
 - ・交通渋滞・交通環境問題
 - ・ゴミ処理問題
 - ・避難所及び避難ルート・避難食問題
 - ・医療問題
 - ・掲示板などの問題
 - ・防犯問題

答弁を求める者 町 長 教育長

9. 知念 正成 議員 一般質問要旨

(1) ふるさと納税について

- ①令和8年度8月までのふるさと納税の収入・支出の具体的な数値の報告をお願いします。

- ②令和7年度と比較してどのような広告の活用、実際の行動の変革等ありましたら教えてください。
- ③7年度の目標2億円でしたが、今年度の目標額に向けての具体的な行動、広告等ありましたら教授願います。
- ④総務省は「ふるさと住民」として登録する制度を26年度中に創設するとしています。その制度の説明をお願いします。
- ⑤与那原町のホームページの更新についてのマニュアルは。

(2) 町道の点検等の実施について

- ①町道の点検等(道路の傷み具合、マンホールの状況、除草の有無等の点検)の実施方法に進展はありましたか。

(3) 防災時に飲み水等の確保について

- ①災害時等に飲み水確保どのように考えていますか。
- ②熊本地震の経験からも飲み水の確保は喫緊の課題だと思うが。

(4) 御殿山親水公園について

- ①設置目的を教授願います。
- ②現在、企画・イベント等の計画がありましたら教えてください。

(5) 各課における指定管理料、委託料金の合計と委託先企業名の公表について

- ①項目、料金および企業名または法人名の公表をお願いします。
- ②指定管理料金の決定の過程の説明をお願いします。

答弁を求める者 町 長 教育長

10. 諸見里 史子 議員 一般質問要旨

(1) 新副町長について

- ①特に力をいれたいことは、又、行政を担うにあたりどのような思いと意気込みを持って町政に取り組まれるのでしょうか。

(2) 不登校を止めることについて

- ①不登校の子どもや保護者が交流し、相談し、情報交換ができる場を設ける考えはありますか。
- ②住民から出された「不登校支援」への意見、要望を教育委員会はどう考えているのか伺います。

(3) ゴミ袋の安定供給について

- ①一連のナフサの供給不安を受けて、ゴミ袋の販売に支障は出ていないのか。
- ②町のゴミ袋の在庫状況、町内の店舗での販売状況をどのように把握しているのか伺う
- ③中身が確認できる透明、半透明袋でのゴミ出しを認める考えはあるか。

(4) 災害について

- ①災害時には、災害緊急バイク隊・自転車隊が小回りがきき、各区との連絡や状況把握などができますが活用についてどう思うか。
- ②災害時には、最も必要とされる水環境整備問題において、飲料水と生活用水の確保に対する対処方法を伺う。
 - ・ 3日間で必要な飲料水は。
 - ・ ペットボトルの備蓄量は。
 - ・ 町内の井戸は何カ所あるか。
 - ・ 町内で個人の井戸を所有している方はいますか、また、所有者と協定を結ぶことはあるのか。

(5) 与那原大綱曳前舞い（メーモーイ）について

- ①暑い中、ボランティアとして前舞いを披露された中学生皆さんに対して飲み物などの準備がなかったことは大変残念に感じます。地域のために、時間を作り、暑さの中でも誠意を持って協力されました。子どもたちの健康と安全を第一に、必要な予算を確保し、十分な配慮と準備をお願いいたします。誠心誠意協力してくださる生徒への感謝の気持ちを形にすることが、これからの地域活動をより良くしていくことにつながると考えますが見解を伺います。

答弁を求める者 町 長 教育長

11. 城間 優希 議員 一般質問要旨

(1) 飼い猫による中学校周辺への糞尿被害への対応について

- ①本件の被害状況及び対応について伺う。
- ②飼い主への適正飼養指導について伺う。
- ③多頭飼養届出及び沖縄県との連携について伺う。
- ④動物愛護管理法に基づく対応について伺う。
- ⑤学校における生徒への負担について伺う。
- ⑥問題解決に向けた今後の対応について伺う。

(2) 学校教育におけるタブレット端末の効果的な活用について

- ①タブレット端末導入後の学習方法の変化について伺う。
- ②書く学習とタブレット学習の使い分けについて伺う。
- ③タブレット端末の活用方法について伺う。
- ④タブレット端末を活用した実践的な英語教育について伺う。
- ⑤学校での学びと地域行事をつなげる取り組みについて伺う。

(3) 学校給食について

- ①学校給食におけるエネルギー摂取量及び残食量の、この1年間の推移と現在の状況について伺う。
- ②去年の答弁を踏まえた、児童生徒の声の把握や学校給食センターとの調整など、この1年間の調査・検証及び取組状況について伺う。
- ③この1年間の検証を踏まえた、学校給食の量・質の改善及び今後の改善方法について伺う。

(4) 防災・減災対策の進捗と実効性について

- ①津波避難経路の安全確保について伺う。
- ②災害ハザードマップの周知・配布について伺う。

答弁を求める者 町 長 教育長

12. 宮里 武志 議員 一般質問要旨

(1) 子ども国保税・18歳までの均等割減免について

- ①国の現行制度の未就学児への減免補助は、医療分、後期高齢者支援金分、子育て支援金分など全内訳でどのようなになっているかを伺う。
- ②本町は令和8年度町長所信表明で「地方創生臨時交付金を活用して国保加入者18未満の子どもに係る均等割相当額を給付する」とした。これによって本員は、全内訳分の全額を補助していると捉えるが、どうなっているかを伺う。また、令和8年6月発行の加入者への通知書に記されていない理由を伺う。
- ③臨時交付金での補助となっているが、政府の令和9年度制度拡大も踏まえて、本町の全額減免措置を継続するよう進言する。町長の所見を伺う。

(2) 国保税値上げが低所得層に及ぼす影響とその対策について

- ①令和7年度と8年度のそれぞれで、改定した県内自治体数を伺う。

- ②本町の令和7年度法定外繰入額の確定値と令和6年度比を伺う。また、その比較の特徴を伺う。さらに、令和8年度の予算額を伺う。
- ③令和7年度増税の結果、税収総額が対前年比でいくら増え、また世帯平均はいくら増えたかを伺う。
- ④確定した令和7年度所得別の納付率を前年度比で伺う。

所得ナシの場合

～100万円までの場合

～200万円までの場合

～300万円までの場合

全世帯合計

- ⑤国保の課税所得に関し、当該世帯の収入が「1名の給与収入のみ」とした場合、その給与収入とはいくらか。

所得ナシの場合

100万円の場合

200万円の場合

300万円の場合

400万円の場合

- ⑥ 前⑤と同様に、年金収入のみで65歳未満と65歳～75歳未満では、それぞれの年金収入はいくらか。

ア 65歳未満の所得ナシの場合

々 100万円の場合

々 150万円の場合

々 200万円の場合

々 300万円の場合

イ 65歳以上の所得ナシの場合

々 100万円の場合

々 150万円の場合

々 200万円の場合

々 300万円の場合

- ⑦ 前⑤に関連して、今年3月議会で所得300万円の40代夫婦と小中学生各1人の世帯の国保税は、子ども支援金を除いて令和7年度で40万4,940円、令和8年度で42万6,200円であること、また、別の答弁でこれらは協会けんぽのほぼ二倍弱の税額との答弁があったが、引き続きその通りの認識で良いか。

次に、令和8年度で同条件の世帯で所得ナシの場合、100万円の場合、200万円の場合の本町国保税はいくらかを伺う。この場合、法定軽減も適用する。

⑧これらの答弁を受けて、低所得層にとって高すぎて払いたくても払えない国保税のあり方、本町の支援の上乗せの方策などについて問う。

(3) 与那原大綱曳まつりで来賓紹介が政治利用された件について

歴史と伝統のある大綱曳は町民の心を一つにする場であり、不偏・不党を守ることは最低限の礼儀である。この観点で政治的に利用された点を問う

- ①今回の事実経過で問われているのは何だと捉えるか。
 - ②過去に不偏・不党に抵触するような事態があったか。
 - ③選挙結果がどうであれ、やってはならない一線を越えた事実について、最高責任者は現場の責を問うのではなく、町民に事実経過を明らかにして謝罪した上で、改めて、今後はあらゆる場面で不偏・不党を貫くことを表明すべきである。
- 町長の見解を問う。

答弁を求める者 町 長

13. 船谷 政喜 議員 一般質問要旨

(1) 保育園定員割れ対策について

- ①保育園の定員について今の現状を教えてください。
- ②全国的に人口減少の影響により、保育園の定員割れが起きていますが、本町の保育園では、いつごろから定員割れが起きてきますか
- ③対応策はありますか。

(2) 与那原大綱曳まつりについて

- ①綱が会場に到着して1回目に綱をおろした時、外国の方が一人で担いだまま危険な状態でした。会場でも通訳を入れる事ができないか。
- ②大綱曳の来賓紹介で来賓名簿に記載されていない方が紹介されていたとの事。その事について本町はどうか。

(3) 災害時協力井戸について

- ①災害時協力井戸について、以前の一般質問からどのようになっていますか。

(4) 災害時炊き出し協定について

- ①出店業組合との炊き出し協定の件、その後はどのようになっていますか。
出店業組合以外との協定の話もありましたら教えてください。

答弁を求める者 町 長